

報道関係各位

## オートフォームジャパン、AutoFormPlus R5 を発表 プレス成形のさらなる効率化を実現

プレス成形業界向けソフトウェア・ソリューションの世界有数のサプライヤーである **AutoForm Engineering GmbH** (本社:スイス) の日本法人、オートフォームジャパン株式会社 (東京都港区、代表取締役:マルコ A. クリベリ) は、本日、**AutoFormPlus** の最新バージョン **AutoFormPlus R5** (オートフォームプラス R5) を発表しました。新製品ラインの 5 度目のリリースとなる今回のリリースでは、新たに追加・改善された機能は 100 以上にも上ります。本リリースによって **AutoForm** のソフトウェア・スイートが大幅な進化を遂げ、「包括的デジタル工程計画」の重要な構成要素を一層強化。プレス成形のさらなる効率化を可能にします。**AutoFormPlus R5** は 2013 年秋より販売開始予定です。

**AutoFormPlus R5** では、プレス成形のプロセス・チェーンに沿って、ユーザーの目標達成を支援する機能が大きく向上しました。工程計画の機能を大幅に拡張し、順送金型のプレス成形に関する工程計画の作成をも支援します。加えて、ユーザーはストリップ・コンセプトの定義や表示、材料コストの見積もりを簡単に行うことができます。また、工程計画を 3D ビューの形状上で直接編集できるようになり、工程定義の修正作業が飛躍的に容易になりました。**AutoForm** データ・ファイルに直接アクセスすることにより工程計画の情報やデータを他の技術部署と共有できます。工程計画全体を各部署へ伝えることで設計工程の一貫性が高まり、より高度なフィジビリティ解析が可能となります。

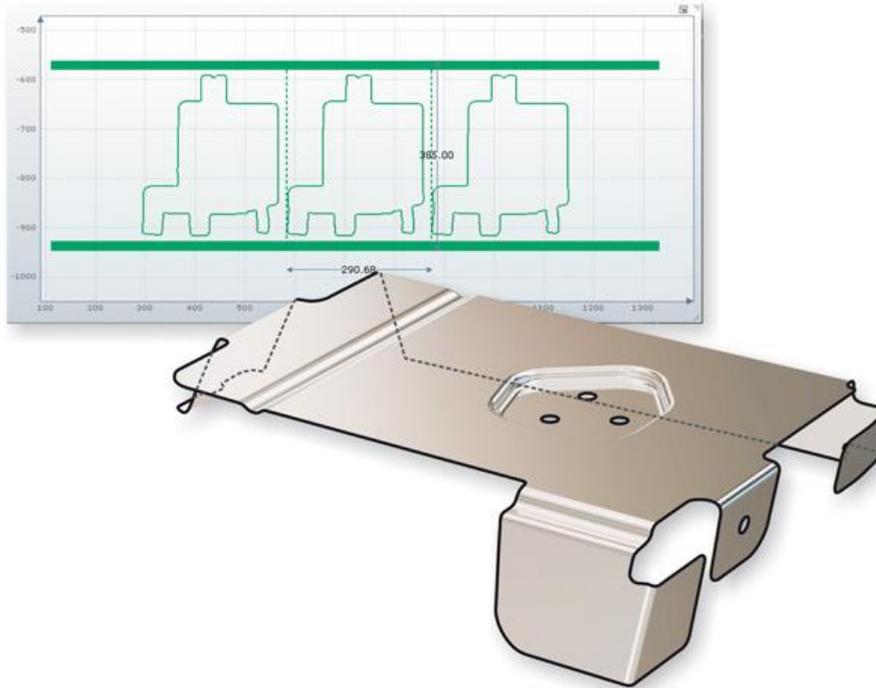
**AutoFormPlus R5** では金型モデリングに関しても優れた新機能を搭載しています。絞りや次工程目の定義に必要なダイフェースの作成機能を強化したことに加え、プリフォーミングの形状を簡単に定義できる形状タイプを追加。フランジ展開のオプションも強化され、絞り型のモデリング中に次工程のトリムやフランジを簡単に検討できるようにしました。**AutoFormPlus R5** を使えば、設計コンセプトをより簡単に立案することができます。さらには、ソルバーの改善により、シミュレーションの精度と速度の向上を同時に実現しました。

**AutoForm Engineering** のコーポレート・マーケティング部門担当役員の マーカス・トマ (Markus Thomma、工学博士) は次のようにコメントしています。「最新バージョンとなる **AutoFormPlus R5** は、プレス成形をさらに効率化するために設計されました。お客様のニーズにお応えした使い勝手のよいソフトウェアであり、デジタル工程計画やプレス成形部品の検証に役立つさまざまな機能を提供します」

### AutoForm Engineering GmbH について

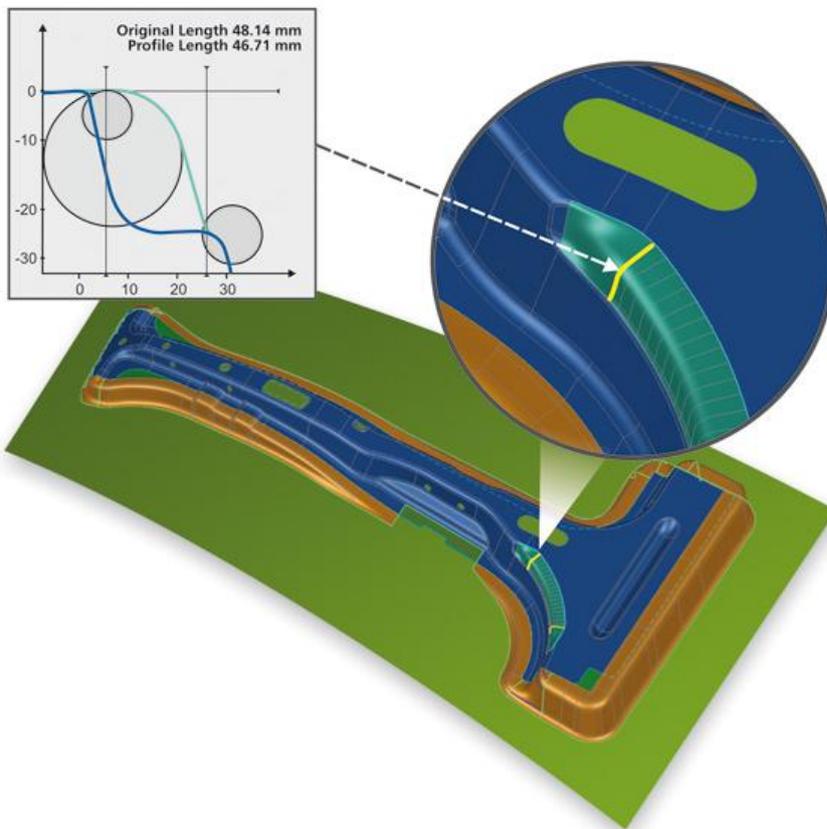
**AutoForm** は、金型設計およびプレス成形業界のプロセス・チェーン全体にわたるソリューションを提供しています。業界に精通した社員 250 名を擁し、製品の製造、工具・原料費計算、ダイフェース設計、バーチャル・プロセス最適化に特化したソフトウェアのリーディング・カンパニーとして高く評価されています。ユーザー数は 2500 を超え、大手自動車メーカー 20 社をはじめ、世界 40 カ国、500 社以上の企業で利用されています。スイスのチューリッヒを本拠として、その拠点網はドイツ、オランダ、フランス、スペイン、イタリア、アメリカ、メキシコ、ブラジル、インド、中国、日本、韓国に広がっています。この他 15 カ国以上に代理店を設けています。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。  
[www.autoform.com](http://www.autoform.com)

このリリースに関するお問い合わせ、データのリクエスト先: オートフォームジャパン株式会社  
ビジネス・ディベロップメント 藤川 敏弘 電話: 03-6459-0881 Eメール: [info@autoform.jp](mailto:info@autoform.jp)



### 順送金型の工程計画

ストリップ・コンセプトの迅速な定義や表示、材料コストの簡単な見積もりができます。



新しい形状変更タイプ「プリフォーミング」によって、プリフォームの形状を簡単に定義できます。